

【補助事業の広報資料】

補助事業番号 24-1-50

補助事業名 平成24年度 国際呼応劇活動の推進活動補助事業

補助事業者名 特定非営利活動法人 沖縄県芸術文化振興協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

沖縄市では毎夏に「国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ」が2005年以降、継続して開催されているが、その中で若者を対象とした身体表現を伴うワークショップは、参加者からも、また教育関係者、演劇関係者からも評価が高く、将来の演劇活動に大きな影響を与えていくものとして国内外で注目されている。

そのような活動の一つとして2012年の春から夏に、沖縄(日本)・ソウル(韓国)・高雄(台湾)の三か国の協力によって一つの身体表現の舞台を作り上げていくワークショップを企画した。これは、連続したワークショップで共通体験を重ねる中で、若者たちが体感を伴った文化交流を進めていくことを目的の一つとしている。加えてこの身体表現の指導者はすでにヨーロッパで活動を重ねており、ヨーロッパでは国境を越えた若者たちのワークショップ活動と舞台発表で成功をおさめ、評価を得ている。同様の活動がアジア人の若者でどのように実現されるのかという期待ももって企画された活動である。

また別の視点から見れば、国際感覚とコミュニケーション能力を持った人材を育成する目的ももった活動である。

さらにこのような活動を発展させ積み重ねていくことで、国際的な演劇活動の発展、例えば多国籍劇団の創出を展望していくことも、目的としている。

(2) 実施内容

三か国の演劇祭の制作メンバーによる企画調整を元に次の活動を行う。そのうち、沖縄でのワークショップ活動を本事業の活動とする。

- ・各地での参加者(青少年)の募集
- ・各地でのワークショップの開催
- ・各地での舞台発表

主な実施日程

5月18日 参加者募集活動開始

7月4日 沖縄でのワークショップ開始

7月21日 韓国でのワークショップ開始

(7月25日 「RUN」第1回公演、PUNフェスティバル[韓国/華城市])

7月26日 沖縄へ移動しワークショップ継続

(7月28日 第2回公演、キジムナーフェスタ[日本/沖縄市])

8月 8日 台湾でのワークショップ開始

(8月11日 第3回公演、芸術教育祭[台湾/高雄市])

(8月12日 第4回公演、同)



2 予想される事業実施効果

三か国の演劇祭の連携、また演劇祭から外へと広がる演劇活動の連携が、さらに深まること。

参加者を中心として市民レベルでの国際交流、文化交流が発展し継続していくこと。

青少年の育成に関する各地の共通認識が広がること。

参加する三か国にとどまらず、アジアの、そして世界の演劇関係のネットワークの連携が強まること。

アジアのネットワークを基板としながら、アジア以外の演劇活動とのネットワークも築き、強化していくこと。

そして、将来の多国籍劇団の創設につながる国境を越えた活動が進むことなどが予想される。

3 本事業により作成した印刷物等

特になし。

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 特定非営利活動法人 沖縄県芸術文化振興協会（オキナワケンゲイジュツブンカシンコウキョウカイ）

住 所： 902-0073

沖縄県那覇市 字上間 345-1-2 号棟-1106

代表者名：理事長 大城 将保（おおしろ まさやす）

担当部署：事務局

担当者名：事務局員 大池 功（おおいけ いさお）

電話番号： 098-887-1321

FAX 番号： 098-887-1334

E-mail： npo@okigeiren.org

U R L： <http://npookigeibunkyo.ti-da.net/>